

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	管財課長	上田 保明
総務-12 財産管理事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	管財課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	財政課・文化財課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	行財政運営

1 事業の目的

対象	市有財産等
意図	財産管理に係る運営事務を行うとともに、土地等の売り払い等による収入の確保、公共公益施設整備基金への積立てを行うため。
効果	普通財産土地等を良好な状態で維持管理するとともに、売り払い等による収入の確保を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市有財産評価審査会の運営及び地価変動率予測意見書の作成業務を行った。</li> <li>・普通財産土地・建物の貸付け及び枝払い等管理業務、市有青地・廃道路敷等の売払い及び交換事務、未利用地等の売り払い及び管理事務を行った。</li> <li>・野村総合研究所跡地の管理を行い、市民向けに一般開放した。</li> <li>・前年度からの繰越明許費により、旧今井邸解体工事を行った。</li> <li>・公共公益施設整備基金を管理し、環境整備協力金等の積立てを行った。</li> <li>・財政調整基金を管理し、計画的に基金の積立て、取崩しを行った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	39,998	62,550	当初予算(千円)	239,127			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	2,497	11,165	その他	17,630			
	一般財源	37,501	51,385	一般財源	221,497			
	人員配置数	4.9	4.8	人員配置数	4.8			
事業経費	人件費(千円)	36,985	37,601	人件費(千円)	36,766			
	総事業費(千円)	76,983	100,151	総事業費(千円)	275,893			
	市民1人当りの経費(円)	434	565	市民1人当りの経費(円)	1,560			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	限られた予算の中、効率的な事業執行に努める。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	未利用地の活用・売却について、課題・条件の整理を行いつつ取り組んでいく必要がある。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	未利用地の売却に向けた条件整理。 売却方法の検討。 所有土地建物の維持管理。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	一定規模の土地について、市内での活用や売却用地の選定など、調整を行い売却に向け入札を実施した。 応札の無い物件もあったことから、売却手法の検討を行った。 普通財産の所有者として、適正な維持管理に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	大規模な未利用土地建物の日常管理のあり方について検討したい。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---